

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 大谷 和雄
幹事 池田 隆
会報委員長 浅井 誠寿

No. 6

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

1992-93年度 RI会長 クリフォード・L・ダクターマン

第491回例会 平成4年8月11日(火) 晴 分区代理訪問

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 68(65)名 出席 50名
出席率 76.92%
前回 8月4日(修正出席率)100%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

松島君(8/10)、今井夫人(8/13)、釜谷夫人(8/18)、黒野君(8/20)、浅井夫人(8/21)、中山夫人(8/21)

◇ ニコボックス

名古屋北RC 分区代理 日比 榮一君
分区代理幹事 真田新之助君

本日貴クラブ訪問させていただきます。よろしくお願ひします。

尾張旭RC 藤本 孟男君 お世話になります。
堀江 宏輝君、池田 隆君、今枝 秀夫君、菊池 昭元君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、松居 敬二君、宮尾 紘司君、水野 民也君、水野 賀統君、成田 良治君、笹野 義春君、田部井良和君、和田 正敏君、鷺野 義明君、山本 眞輔君 分区代理をお迎えして。

黒野 貞夫君 分区代理をお迎えして。誕生日祝い。

竹内 眞三君 スピーカーでお耳を汚します。
中山 信夫君 ゴルフ例会に続き、麻雀同好会でも優勝することができました。今年はいいことがありそうです。夫人誕生日祝い。

大谷 和雄君 我校がインターハイでバスケットボール、ハンドボール2種目で優勝しました。
秋山 茂則君 名短付V大谷さんおめでとう。
小林 明君 大谷会長、全国高校インターハイでのバスケット、ハンドボール優勝御目度うございます。

今西 幸一君 8/20次女ユミ誕生日です。

加藤 大豊君 今晩7時バルセロナオリンピック選手団本隊が帰国致します。成田空港まで

出迎えに行ってきます。

佐久間良治君 無事第九コンサート終わりました。

松島 孝彰君 誕生日祝い。

浅井 誠寿君、今井 浩壹君、釜谷 健一君 夫人誕生祝い。

◇ 池田幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので、理事役員・各委員長は、百合の間にお集まり下さい。

2. 次回例会は25日で18日は休会です。お間違ひのないようお願い致します。

尚、25日は理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。

3. ロータリーの友8月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◇ 大谷会長挨拶

夏の過ごし方

会員の皆様はこの暑い夏をいかがお過ごしでしょうか。先週の7日は立秋。「秋きぬと目にはさやかに見えねども風のおとにぞおどろかれぬる-藤原敏行朝臣」。秋を待つ気持ちだが、敏感に風の音で気配を捉えています。兼好法師の徒然草の中に「家のつくりやうは夏をむねとすべし、冬はいかなるところにも住まる」というように日本の夏は大変です。しかし、中国でも、有名な楊貴妃は大きな氷塊を山の形に彫らせ、いくつも宴席の周りに持ちこんだといい、その冷気で招待者はいくら酒を飲んでも酔わなかったといひます。玄宗皇帝は人並み外れた暑がりて、「涼殿」を作り、王座の後には冷水をほとばしらせ、扇風車を廻し部屋の隅には小山のような氷を幾重にも積み上げたといひます。どのように氷を確保し、保存したのかさだかではありませんが、人民の汗が皇帝の涼となったのでしょうか。

氷くずや雪を混ぜた夏の飲み物「飲氷」は

古代ギリシア・ローマ、中国でも広く行われていましたが、やはり生のままの「凍飲」の方が流行したようです。氷の上に酒をじかにおき、冷凍した状態に出したもののようで、昔も今も考えることは同じようです。

◇日比名古屋第二分区代理挨拶



今年度名古屋第二分区代理を仰せつかりました日比です。

本日初めて貴クラブを訪問させて頂きましたが、大変和やかに例会をお進め頂いている様に拝見し、良いクラブだと感じています。

大谷会長がウィークリーで色々とい歌をご紹介になっておられるので、私も学生時代に戻り少し勉強してきました歌を披露することにしました。

唐様之華、偏其反而。豈不爾思。

室是遠而。子曰、未之思也。夫何遠之有。

皆様もロータリーに入られた時はこの様な感じを持って、ロータリーは良い所らしいから入ってみようかという事であったと思います。

10周年をお迎えになり誠におめでとうございます。でも10年もたちますともう恋をしていたという状態ではなくなってきたのではないのでしょうか。これからは、恋をいかにみものらせていくかということでもあります。どうぞ皆様恋していたことを思い出して、理屈なしに出席したいと思えるクラブにしていって頂きたいと思います。

さて、今年度IMは10/9に予定しております。連休の前で大変恐縮ですが、皆様のご出席をお願いしましてご挨拶にかえさせていただきます。

(文責 浅井 誠寿君)

◇講演

“続 Omnibus”

会員 竹内 眞三君

最初に職業上の事柄を次にロータリーに関しての感想を申し上げます。第一に最近の医療上のことで感じている事を簡単に申し上げます。人は生まれて死にます。私の職業の関連では出生に関する事柄で色々考



えさせられます。流行の体外受精、就中「冷凍受精卵」による妊娠については会長時代に会長挨拶の中で風来坊受精卵の横行や遺伝子操作の実験用とか問題が多すぎると申し上げました。更に大切なのはそれらの問題は深く静かに潜行し、気付いた時にはもう遅いという事なのです。

次に「臓器移植」が問題になっています。さし当ってはドナー(臓器提供者)不足と莫大な医療費が問題となっています。私はそれらを問題とする前に「生」とか「死」についてその長さを問題にするのではなくその内容が大切に哲学、宗教をベースにした理解が十分になされる必要があると強調したいのです。臓器を『モノ』としてみるか『生の証しとしての存在』と見做すかは重要です。戦没者の遺骨の拾集には「単なるモノ」ではなく「尊厳なるモノ」として拾集が行われ、拾集は聖なる事業として受け入れられている。「遺骨」に対する人々の執着する心構えを「遺肝」とか「遺心」或は「遺腎」として置換して考えてみると判り易い。他人様の「死を期待」して自分の「生の延長」を願うという心情には複雑な心境をもたざるを得ません。現今の科学は「類人猿の臓器」を利用する処までできています。今必要なのは科学の無節操な発展ではなく澄明なる死生観ではないのでしょうか。話のついでに第3の問題を提起しましょう、御時世でしょうけれどもインフォームド、ユニセットと云って「説明と同意」という事が大切になって参りました。アメリカ医学一辺倒の日本ではアメリカ式の契約思想が強くなっています。処が医者(素人)は全部が全部理解出来よう筈がありません。このランチメニューにしてもいちいち作り方から食べ方までシェフに説明を受けなければ食べないなんて人は居られないでしょう。当会館とシェフを信頼して衛生と味覚を一任しているわけです。美味いか不味いか勝負です。でも不味いから何とかしろとは誰も申しません。現今の医療の現場では、不味いから金を返せ、いやそれどこ

ろか弁償金を出せとやられ兼ねません。世の中金銭的には豊かになったけれども精神というか余裕というか心の持ち方に貧困な階層が増えつつある故と見ています。もう少しストイックな生き方を真剣に考える時期でしょう。

次にロータリーに関して申し上げます。7月28日に夜間例会が松楓閣で行われ、夫人同伴例会となっております。千種ロータリーは今年10周年を迎えます。share Rotaryでこんな機会に奥様方同志顔馴染になっておいて頂くと秋のMemorial Meetingにお顔をみてどこのどなただったやらの戸惑いが少なからうとの理事会のお計らいだと受取って出席致しました。問題が2点あります。会員の出席率50%今一つは夫人の出席14名でありました。私は理事、役員委員長クラスの方々は当然御同伴で御出席の事とばかり思っておりましたので少々ガッカリいたしました。夜間例会とは言っても単なる飲み食い会だからつまらないとお考えなのか（これはプログラムの企画がよくないか親睦委員会の働きが不十分なのか。会場とり廻しのS.A.A.が到らぬのか…の問題につき当たる）余分な会費を払うのが鬱陶しいのか 折角大谷会長以下がお考えくださった事に失敬ではないかと憎まれ口を叩きたくなります。ともあれこの秋には千種ロータリーの10周年です。これはウチの記念日であると同時に2760地区の一員としての10周年である事を会員一人一人御認識頂いて、秋には『会員ペアで出席』と行きたいものです。

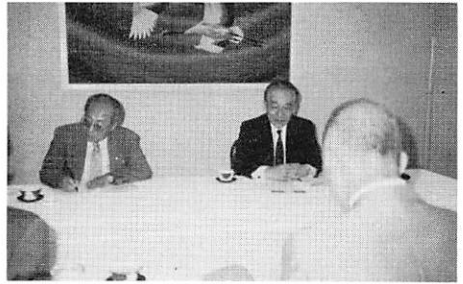
最後に御手元の別表を御覧下さい。この10年間の当クラブの消長を数字で一覧にしたものです。多くの優秀なるメンバーに恵まれました。一方で職業上、家庭上、或は健康上の理由で退会を余儀なくされた方も大勢いらっしゃいます。退会されたメンバーの中でも状況が変わって再入会可能な方をお誘いしてみてもとも考えます。水野キイメンバーは32年、皆出席、よくぞ続かれた事と敬服いたします。それこそ家内安全、事業息災、一身健康に恵まれていたからでしょう。たったの10年、アッという間の10年でしたが、同様の意味で私も感謝したいと存じます。

最後にジョンF.ケネディもどきに「千種ロータリーが我々に何をしてくれるかではなく、我々が当ロータリーに何をなし得るか」を結語として責めを終わりたいと存じます。

(紙面の都合上一部省略させて頂きました)

———会長・幹事懇談会———

11:30~12:20 橘の間



例会前に、分区代理・分区代理幹事・会長・副会長・会長エレクト・正副幹事による会長・幹事懇談会が行われました。

———クラブアセンブリ———

13:30~14:30 百合の間



例会終了後、理事役員・各委員長によるクラブアセンブリが開催されました。

日比分区代理は、出席者の職業を前もって調べてこられ、各委員会毎に丁寧な御指導を賜りました。

◇財団奨学生 羽佐田 理恵さん

お手紙紹介
キャンベラはこの国の首都ですが、こじんまりして丁度カナダの首都オタワのような趣です。住むには安全な所かもしれませんが退屈な町です。オーストラリア自体がアメリカとかカナダに比べると、景色も文化もデパートで売っているものとも、あまり変化がない、単調なもののように思われます。でも特にアメリカにライバル意識とゆうか敵対心を持っている人が多いのでオーストラリア人をアメリカ人と比べたり少しでもよくいったりすると、よくないみたいです。「アメリカ人は自分たちがNO1だと思っているからいやだ。」と言う人が多いです。しかし彼らに言わせると、「オーストラリア人が一番平等主義で、一番ナイスで、オーストラリアがthe best place to live」と言っているのだから私からしてみれば、どっちもどっちじゃないかしらとゆうかんじです。又、彼らは愛国心がとても強いので、オーストラリアの感想を聞かれたら、本当の事で

もnegativeな事はあまりいわない方がよさそうです。それにしても、オーストラリア人は予想以上にアメリカ人と違った性格をしていて、毎日がまだ発見で、結構楽しんでます。

私のホストクラブであるキャンベラ・ノースの人々はとてもよい人たちばかりです。こちらのアクティビティはとても活発です。クラブの資金集めのために、festivalの時にお店をしてticketを売ったり、wood choppingをしたり、footballの試合の時に駐車場で交通整理をvolunteerでしています。私もticket売りを手伝いました。確かロータリーで留学された先輩に聞いた時は、大体一年でmeetingに出席された回数はまず、十回以下だったと思いますが、私のクラブの活動はとても活発で「毎週末来てね。」と言われるので、他の用事とか試験期間以外は、毎週末曜日六時から九時ごろまでのmeetingに参加してます。面白い事に、meetingの時はエリザベス女王の写真掲げて、「to the queen!」と乾杯します。とてもフランクなmeetingで、私は他のロータリアンをfirst nameで呼ぶように言われています。毎回、lotteryがあっても、賞品(大抵ワインとかアルコールですが)をあてるビンゴみたいなものをするところも、オーストラリア独特ではないでしょうか？私も一度当たって、その時はオーストラリア初代首相の物語のカセットテープでした。

3月には地区大会があって、三日間Wagga Waggaという所へ旅行をしました。とても田舎でしたけど、オーストラリア独特のBush Danceとかを、皆で踊ったりして面白かったです。こちらのロータリアンは、50代、60代の方でも張り切って踊ってらしてとてもかわいらしかったです。この時に他の地区のロータリアンの方たちともしりあえて後で週末をかねて二日間の招待を受けた(遠い地区だったので)のですが、招待された日が試験期間の真っ最中で行けなかったのが残念でした。

オーストラリアの大学は、現地の人であるならば、授業料がただ同然に安いし、奨学金もオーストラリア市民向けのものが一杯あるのでいいかもしれません。数年前までは外国人も安い授業料でよかったのですが、経済の悪化とアジア人の留学にかこつけて移民する人が増加した為に、1988年からオーストラリア人の何十倍以上もの授業料(私の場合、一年の授業料が1,2000ドル)を払わなければいけないようになりました。加えて、アジア人(特に日本のような先進国からの人)に対する奨学金は殆どありません。反対にほとんどのオーストラリア人は政府から何かしらの奨学金、又は援助金を受けています。留学生が払う高い授業料はオーストラリア経済を支える重要な資金源と思われる。イギリスでも日本人に対する奨学金は殆どないと思いますが、留学生

への奨学金や学生への経済援助の点では、カナダとアメリカがずばぬけていると思います。(オーストラリアにはT.A.制度もありません。)よって、ANU(オーストラリア国立大学)のアジアからの学生も(私は違うけど)超お嬢様とかおぼっちゃまが殆どです。よれよれの恰好をしているとしたらそれは大抵オーストラリア人です。日本からの留学生もあの石油の出光の御曹司?とか、大蔵省とかの派遣とか、います。あと私のようにロータリーの奨学生とかはいます。(上智から一人、筑波大から一人)が、そういう人は普通の人で、来年の授業料をどうしようかと頭をかかえている人々です。ちゃんと奨学金のことを考えてアメリカとかにしておくんだと後悔することしきりです。

今までシドニーとブリスベンに行きましたが、どこも日本人と日本人の店が多かったです。キャンベラが少ないほうなのかしら。オーストラリアの日本語学習熱は少なくともキャンベラではすごいです。日本へ留学したいとか、日本で一、二年働きたいと言う生徒が想像した以上に多いです。混みこみした日本でも、オーストラリアにはない長い歴史とか文化とかととっても魅力的なんだそうです。きっと経済の悪状況も手伝っているんだと思いますが、日本にいけば仕事があるとか、何かがあるとか、どこか、日本人がアメリカに対してアメリカンドリームを描いてきた現象に通じるものがあります。でも、広いけどあまり変調もないこと比べると、日本は取っても神秘的に映るかもしれません。だから日本人とわかって相手が親切になるということもあります。同じ人格でも他のアジア人だったら違った対応をされるのかしらと思うと、あんまり愉快じゃないですが日本の事を誉められると、やっぱり悪い気はしません。(勝ってですよね。)

あんまりたいした内容の手紙になっていませんけど、今回はくらいにします。

◇お知らせ

会員 林 淳三君、黒須 一夫君、新美 敢君、佐野 寛君、杉山 貞男君、竹内 眞三君(以上6名)が8月16日付でシニア会員になりました。

ちょっとPR

平成4年度全国高校総合体育大会が宮崎県で行われました。バスケットは新居浜と決勝戦を行い、優勝を意識して前半は固くなりましたが、後半は落ちついた試合ができました。ハンドは夙川と接戦の末1点差で優勝をもぎりました。 大谷和雄君

◇次回例会(8月25日)

クラブフォーラム

◇次々回例会(9月1日)

ガバナー公式訪問